

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポートセンタースクラブ 放課後等デイサービスリオ			公表日	令和7年 2月 25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用定員数に対して、十分なスペースを確保しています。引き続き、実態や活動内容に応じた活動スペースの確保を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・当日の利用人数や状況に応じて適切な配置をしている。配置基準を満たしています。 ・キーパーソンを付ける等して、お子さまに合った支援を行う工夫をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・こども達が自分で荷物の管理がしやすいように、視覚支援カードを使用し、持ち物のチェックを行っています。 ・トイレへの移動に時間のかかる利用者には遠いと感じる場合があります。	・トイレまでの移動に配慮が必要なお子さまについては、必要に応じてトイレに近い療育室を使用できるよう配慮します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・清掃や整理整頓、玩具の消毒を行っています。 ・空気清浄機や加湿器なども設置しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・必要に応じて療育室を分けたりするなど環境調整を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・日々、職員間の連携が取れていると感じています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・保護者向け評価表以外にも、迎え時の引き継ぎや個別相談期間を設定する等して、保護者の意向や相談等を把握できるよう努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・日々のミーティング等で意見交換がきちんとされている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・保護者等から指摘を受けた際は、早急に対応し、業務改善に努めています。また、第三者委員会へ報告しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部の研修へ参加したり、法人内での研修を設ける等、職員がさまざまな研修へ参加できるようにしています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムに沿って活動が行われている。	・作成した支援プログラムにつきましては、当法人のホームページで公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・児童発達支援管理責任者と一緒に作成が行われている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・意見を伝えたりしながら検討が行われている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・情報も共有されており、支援へ繋がっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・放課後等デイサービスガイドラインの提供すべき支援のねらい等を踏まえて、お子さまや保護者の課題やニーズも考慮し、総合的に検討して放課後等デイサービス計画を作成しています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 定期的立案の日程を設けて検討できている。 指導案作成担当者以外の職員も含めて、翌月の活動内容を検討し、お子さまの実態に応じた内容や教材教具を検討しています。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 活動内容が固定化しないよう年間療育計画を立てています。また、馬の個別レッスンを通して、運動機能や情緒面への支援も行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムが固定化しないよう、職員間で検討しながらさまざまな活動提供に努めていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> お子さまの実態や状況に応じて、個別活動や小集団での活動を提供しています。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 朝礼や昼礼の機会を設け、お子さまの情報共有を行い、指導案の打ち合わせや職員配置について検討しています。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 支援後に昼礼の機会を設け、お子さまの特記事項や活動内容や支援方法の振り返りを行っています。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ケース担当者、児童発達支援管理責任者を中心に、個別支援作成会議の中でモニタリングやアセスメントを実施し、実態に合わせた支援が行えるよう努めています。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> お子さまが好きな遊びを選択できる時間を設けたり、ホースセラピーの内容について取り入れたい内容を確認したりしている。また、お子さまの実態に応じて視覚支援カードを使用し、意思確認を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> お楽しみ会に向けてお子さま自身で内容を考え、計画や準備について話し合う活動を取り入れています。また、日常的に子どもたちに選択してもらう機会を設けています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報共有を図っています。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 就学前後に担当者会議等を活用して、お子さまの支援の経過等について情報共有を図っています。また、必要に応じて電話連絡等を行っています。 	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援センター主催の事業所連絡会等へ参加し、各事業所の療育内容や職員育成等について情報共有を図っています。 	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 地域の放課後児童クラブを併用しながら利用しているお子さまも多く在籍しています。また、事業所を利用しているお子さまが、障害の有無に関わらず交流できる場を設けています。 	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> その地区自立支援協議会こども部会へ定期的に参加し、研修を受けたり事業所間の情報交換を行っています。 	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳アプリやお迎えの際の引き継ぎを通して、お子さまのご家庭や事業所での様子について情報共有を図っています。必要に応じて、個別相談や電話連絡、見学の受け入れ等を行っています。 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ペアレントプログラムや保護者会等の案内をさせていただいています。 	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用前の見学や利用契約時に運営規定や施設の概要、利用料等についてご説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・個別支援計画を作成する前に、お子さまや保護者の方の意向を必ず確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・個別相談や療育参観の期間等、保護者の方が相談しやすい機会を設けています。また、期間外でも必要に応じて個別相談を実施しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会やきょうだい児支援会を当法人で開催しております。	・スクラブ利用の方が参加しやすい方法を検討していきます。令和7年度からは事業所をご利用している保護者の方を対象に茶話会を実施予定となっています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の取扱いについては、契約時に写真掲載同意書に署名をいただいております。また年度ごとに同意書を取り、個人情報の取り扱いには注意を払っています。 ・関係機関との情報交換についても契約時に説明させていただき、同意をいただいた上で情報共有しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・てんかん発作や服薬があるお子さまについては、契約時に保護者に状況や対応を確認し、職員へ伝達しています。てんかん発作が起こった際には、保護者へ状況説明を行い、記録にも残しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・今年度、アレルギー対象の方はおりません。食物アレルギーがあるお子さんについては、医師の指示書を事業所へ提出してもらい、除去食等の配慮を行うこととなっています。	・アレルギーの対象者がいる場合には、医師の指示書を提出してもらい、お子さまが安全に食事を摂れるよう配慮していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットが起こった際には、チームで対応策を確認し、記録を確認できるよう職員間で配信を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	・身体拘束廃止委員会を設置しています。身体拘束を行っているケースはありませんが、お子さまの状況に応じて、刺激の少ない環境に活動場所を変更する等して安全に過ごせるよう配慮しています。	
--	----	----------------------------------------------------------------------------------	---	--------------------------------------------------------------------------------------------	--